

病 院 だ よ り

第2回 キッズセミナーを開催しました!!

頭部打撲

谷崎 義徳

外来のご紹介

楠田 清美

国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市泉区西が岡1-28-1
TEL 045(813)0221 (代表)
FAX 045(813)7419 (庶務課)

URL <http://shinzen.jp>

第2回

キッズセミナーを開催しました！！

昨年の「外科手術体験キッズセミナー」に引き続き、8月2日（日）に“赤ちゃんからお年よりまで温かく見守る看護の大切さ、素晴らしさ”“命の大切さ”をテーマとした「看護体験のキッズセミナー」を開催しました。

小学生対象にて公開公募の先着順とし、当初定員を低学年・高学年各20名としましたが、多数のご応募を受け定員を各10名増員して各30名のご参加をいただきました。



看護体験の内容は・・・

- ① 病棟外来看護（血圧・体温・脈拍・包帯巻）
- ② 救急看護（人工呼吸・心臓マッサージ・AED）
- ③ 母性看護（赤ちゃんのオムツ交換・更衣）
- ④ 手洗い体験
- ⑤ 手術室（実際の手術器械にふれてみよう）



短い時間ではありましたが、参加した子ども達の感想は「本当の看護師になれた気分が楽しかった」「いつもはできないことが出来てよかった」また、保護者の方からは「貴重な体験ができよかった」「子供達に夢を与える良いセミナーだった」と大変好評でした。

このような体験が、夏休みの楽しい思い出となり、未来の看護師へと繋がっていただけると願いながら修了証を授与し、このセミナーが終了いたしました。

キッズセミナー担当 看護主任会

頭 部 打 撲

日常では、度々頭部打撲を見たり、経験したりすることがあると思います。脳神経外科外来でも、小さなお子さんから、高齢の方まで、また様々な原因や重症度の違いがみられる患者さんを見させていただいています。この様な時、頭部をぶつけた後にたんこぶができれば心配ない、子供では泣けば安心などと言われる方をお見受けします。しかし実際にはどうなのでしょう？そこで今回は、脳神経外科外来にて、どのように診察、検査を行い、状態に注意して頂いているか、一端をご紹介しますと思います。幼児、高齢の方の場合にわけ、その後どのようなことに気をつけているか説明させて頂こうと思います。

脳神経外科 谷崎 義徳

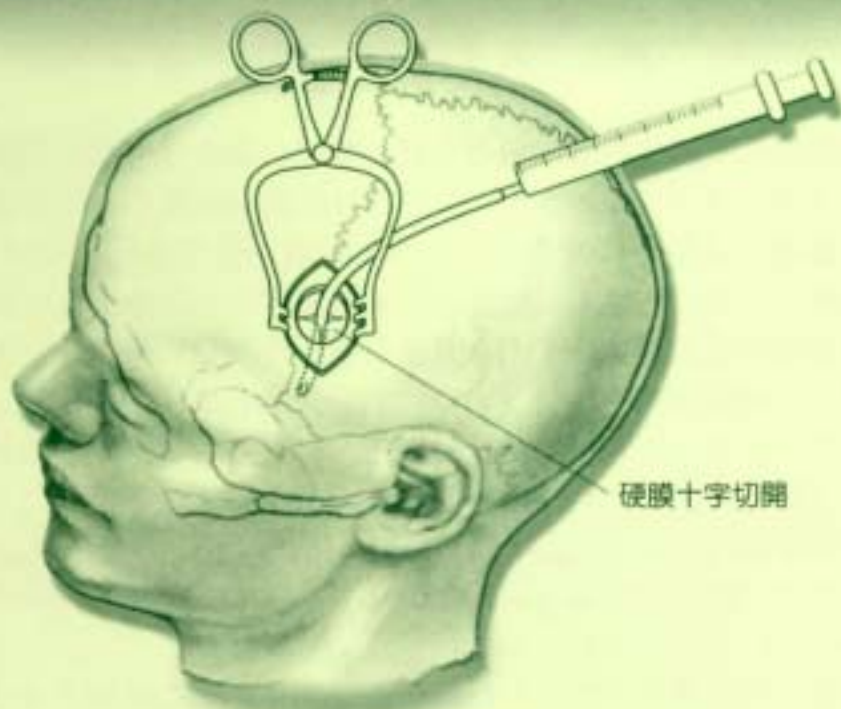


図 4-40 穿頭血腫洗浄術（「重症頭部外傷治療・管理のガイドライン／第2版」より）

ご 案 内

このテーマは

平成21年9月11日(金) 15:00～約1時間の健康懇話会にて
講演予定です。

（入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。）

外来のご紹介

いつも当院をご利用いただきありがとうございます。今回は一般外来のご紹介をさせていただきます。当院の外来は12診療科と、外来化学療法室、禁煙外来、皮膚・排泄ケア認定看護師による外来（WOC外来）などで構成されています。外来はAとBの2部署あり、外来Aは一般外来業務、外来Bは救急外来・検査を担当しています。私たち外来A看護師は地域住民の皆様が一番近くで、病気の治療のみならず予防にも関わっていくという大変重要な立場にあることを自覚して日々看護業務に取り組んでおります。



外来看護師の仕事は医師の診察介助の他に、総合受付での問診や受診科のご相談（インフォメーション）、在宅での点滴や酸素などを必要とする患者さんへの説明、入院される患者さんへの説明、外来手術を受ける方のケア、化学療法時のケア、地域医療機関との連携業務など多岐にわたります。

外来診察時や電話相談の多くは日常生活上の問題についてであり、外来看護は患者さんの生活に密接していることを実感します。そこで、私たちが現在目指していることは、外来通院患者さんの日常生活に関する指導や緩和ケアなどの「看護相談室」の開設です。また、すでに看護外来として皮膚・排泄ケア認定看護師による人工肛門のケアや排泄障害の方の指導（WOC外来）がありますが、糖尿病による足病変のケア（フットケア外来）の看護外来も行っていきたいと考えております。

今年度より看護課長が交代し、新任看護主任2名の体制となり、新しい外来看護を展開できるよう奮闘中です。現在、病院サービス委員会と患者さんからのご意見をもとに、外来環境の整備や待ち時間の短縮を図るため、工夫や検討を重ねております。ご利用いただく皆様に少しでも快適に外来受診ができるよう今後も改善に努めて行きたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

外来A看護課長 楠田清美
スタッフ一同